



2009 年度第 10 号



やまなみ

サンフランシスコ日本語補習校
理事会通信

2010 年 3 月 13 日

理事長挨拶

(小西理事長)

サンフランシスコ日本語補習校の 40 周年を記念する一年が幕を閉じ、新たに 41 周年目が始まるうとしています。インフルエンザで心配されました 2009 年度でしたが、何とか無事に一年を終えることができましたのも、保護者の皆様のご協力のお陰と存じます。一年間御協力を頂き誠に有難うございました。



この度、縁あって理事会に参加させて頂き、補習校に熱意を持ってご協力頂いている数多くの方々と触れ合うことができましたことは、私にとって貴重な経験でした。「子供達の笑顔が見たい」、「日本語による教育を充実させたい」と強く思われている多くのお父さん、お母さん方が、補習校のために睡眠時間を削って奉仕されている姿には心を打たれるものがありました。

世界 56 カ国に存在する 200 校を超える補習授業校の多くは、地元の商工会議所や企業の経営者の方々から理事会に参加されて運営されております。その中でもサンフランシスコ日本語補習校は、保護者の有志の方々から選挙によって選ばれて理事会を構成し、自ら手作りの運営を行っている数少ない補習授業校です。

このような多くの熱意に溢れた保護者のコミュニティーがある限り、補習校は、安泰であると信じております。今後、50 周年、100 周年をめざしてサンフランシスコ日本語補習校が更に力強く成長することを切に願う次第です。

これまで、多大なご支援を頂き本当に有難うございました。

第 8 回、9 回理事会報告

(久保田理事)

第 8 回(特別)理事会 - 2 月 4 日、NEC 社様会議室に於いて、定例理事会とは別に招集される、今年度 3 回目の特別理事会が開かれ、「めざす補習校像検討委員会」(以下、めざす委員会)の松波委員長より最終答申が行われました。その後理事との意見交換を経て、5 ヶ月間に渡り活動しためざす委員会は、理事会の賞賛の中、解散する運びとなりました。

委員(敬称略): 松波博之(現理事)、久保田一清(現

理事)、植木進策(校長)、青柳伸之(事務総長)、安俊弘(理事経験者代表)、折居章雄(SF 保護者代表)、小林里美(SJ 保護者代表)、マクダニエルかおり(SJ 保護者代表)

第 9 回理事会 - 2 月 18 日、本年度最後となる定例理事会が開かれ、以下の内容を討議致しました。1. 植木校長先生から学事報告、今年度学校運営のまとめ、来年度校長派遣のお知らせ、派遣教員の職務内容の説明、授業日の出席に関する取り扱いについての説明などをしていただきました。2. 三宅保護者会代表会長から、盛りだくさんな保護者会活動報告を受けました。3. 小西理事長から来年度講師雇用に関する提示がなされ、承認されました。4. 松波理事より法規委員会活動報告があった後、来年度理事会への申し送り事項の提示があり、定款見直し作業とその活動費の継続が承認されました。5. 前回の理事会で行われためざす委員会答申を受け、松波理事より、A - 答申内容に対する働きかけの継続を来年度理事会に申し送る。B - 答申書とアンケート結果の公開。C - 主幹の任期は特に定めず、在任期間 3 年で担当校移動の対象とする。D - 小学 3, 4 年生を対象に、可能な範囲で学級定員を 25 名程度に削減する事をめざす。E - 緊急通報サービスの導入とその費用(約 \$ 3,100)の予算化・・・の 5 点が提示され、承認されました。6. 賀川副理事長より、WEB 改善プロジェクトの活動報告がありました。7. 小西理事長より、英語の校名変更に伴い、デジタルで作成された新校章の提示がされ、承認されました。8. 40 周年記念実行委員会の余剰金が発生した場合は、50 周年記念事業の資金とする旨提案され、了承されました。

2009 年度理事会活動報告

(小西理事長)

サンフランシスコ日本語補習校の 40 周年を記念する 2009 年度は、理事会委嘱による各委員会の活動が盛んに行われた年でした。以下に簡単に活動内容を報告させていただきます。

「40 周年記念行事実行委員会」による 2 年越しの企画、運営のもと、40 周年記念パナーの公募、映画上映、シンポジウム、野球観戦、弁論大会、メインイベントなど当校の 40 周年記念を飾るに相応しい各種行事が催

され、児童生徒を始め多くの関係者が補習校の繋がりを感ずることができた一年でした。多くの方々に御協力頂き深くお礼申し上げます。

昨年 8 月の 40 周年記念シンポジウムでの各界のご提言を受け、理事会では、多様化する児童生徒や保護者のニーズに応え、より効果的な学習環境を提供し、本校の将来に向けての長期的展望を見定めることを目的に「めざす補習校像検討委員会」(以下「めざす委員会」)を設置しました。めざす委員会では、補習校のめざすべき在り方を 5 ヶ月に亘り検討した結果、今年の 2 月 4 日に答申書を理事会に提出して頂きました。答申書の中の 14 の提言のうちいくつかは理事会で承認され、残りの課題は新年度理事会で引き続き検討を行うよう申し送りすることになりました。

当校の現行ウェブサイトを変更し、効果的に当校内外関係者が利用できるような理想的な構築を目指して「WEB2009」を昨年春に発足しました。様々な角度から当校のめざすべきウェブサイトのあり方を検討し、業者の援助も受けながら来年度中には完成させるべく引継ぎを行う予定です。

「法規委員会」では、ウェブサイト運営細則を制定し、ウェブサイトの更新、管理の手続きを明確にしました。また、ウェブサイト上の写真掲載のための取り決めを明確にし、写真掲載に同意しない場合の保護者の依頼書を作成し、来年度以降の実施に取り組む予定です。更に、カリフォルニア州法に則った定款の全面改定に取り組むため、来年度の総会での承認を目指しています。

当校の安全面においては、植木校長先生のご指導の下、セキュリティ・カードの導入を行いました。更にめざす委員会の提言内容に基づいて、来年度より緊急時の一斉自動電話連絡を導入することを決定しました。

財政面においては、現地校借料の値上げや生徒数の年度途中転出などのため、過去 2 年間据え置きさせて頂きました授業料を 5%値上げさせて頂きました。今後安定した経営を行うためにもファンド・レージングに力を入れることを来年度に申し送りすることとなりました。

通常総会報告

(賀川副理事長)

去る 2 月 27 日午前 9 時 30 分より小学部サンノゼ校マルチユースにて平成 21 年度通常総会が開催されました。植木校長先生による学事報告に続き、本校 40 周年記念委員会からの数々のイベントに関する活動報告が池田委員よりありました。また、めざす補習校像検討委員会の活動報告および答申書の概略につ

いて松波委員長から報告があり、最後に理事会活動の全般に関して小西理事長から報告がありました。また西郷財務役より本年度の会計報告がありました。総会参加者および委任状提出数の確認に続いて、サンフランシスコ日本語補習校校名(英語名)変更について決議が行われ、賛成多数で可決されました。最後にサンフランシスコ日本国総領事館領事班長でいらっしゃる小川選挙委員長から来年度の理事の発表が行われ、また退任理事の紹介が行われました。

法規委員会活動報告

(松波理事)

やまなみ第 3 号(6 月)でお知らせしましたように、今年度の法規委員会では、以下の 3 つを重点テーマとして取り組んで参りました。

By laws/定款

理事選挙細則

本校ウェブサイトのサイトポリシー、ガイドライン

以下に、それぞれの活動成果をご報告致します。

By laws/定款

「CA 州非営利会社法」に、より一層遵守した内容への改正作業に取り組まれました。また、現在「定款」「運営細則」「選挙細則」の 3 つに分散されている本校運営の主要規約文書を統合する作業にも平行して取り組みました。その結果、英文ドラフト(33 ページ)の作成を行いました。当初想定していたよりも作業量が多く完了する事ができませんでした。本件については、来年度理事会でも引き続き取り組み、英文/和文の定款改定を目指すことを確認しました。

理事選挙細則

特に人事、経理/会計、法律関連の専門性を期待出来る法人会員特別理事枠(2 名)を設ける旨、理事会の承認を得ました。来年度の定款改定の中に盛り込まれる予定です。

本校ウェブサイトのサイトポリシー、ガイドライン

やまなみ第 8 号(1 月)でもお知らせしましたように、本校のホームページの活性化を目的に、ホームページ運営規則の全面改定を行いました。これにより、保護者の皆様に直接関係する部分としては、

A) 保護者の皆様からのコンテンツ掲載が可能

B) 保護者の同意が得られた場合、子どもたちの写真掲載が可能

となりました。新年度の始めに、写真掲載の同意を確認させて頂く書面が各家庭に配布されますのでご確認下さい。

これをもちまして、今年度の法規委員会の最終活動報告とさせて頂きます。

「めざす補習校像検討委員会」最終報告

(松波理事)

めざす補習校像検討委員会では、保護者の皆様から頂いたアンケート結果に加え、教員アンケート、主幹との意見交換会も含め5ヶ月間に渡り慎重な議論を行いました。委員会活動を通して最初に確認できたことは、現在本校は非常に熱心な教師陣、保護者ボランティアに支えられてうまく運営されているということでした。週1回、借用校という限られた時間とリソースの中で、皆で努力と工夫をしながら学校運営がなされていることが確認できたことを大変うれしく感じました。



(理事会への答申書報告会：めざす委員会と理事のメンバー)

その上で、現在の補習校の良い点を活かしながら、更により良い教育環境を実現するために、どのような工夫や改善が可能であるかを、以下の14項目の提言内容を含む「答申書」を先日理事会に報告いたしました。

1. 基本原則
2. 家庭学習の強化とその支援
3. 学校運営・教育体系
4. クラス編成のあり方
5. 教員の教育力向上
6. 学級定員の削減
7. 進級・進学審査制度の研究
8. 教職の魅力度向上と教員数の安定確保
9. 主幹制度
10. 高等部のあり方
11. 理社合科について
12. 安全管理の強化
13. 学校評価
14. 地域社会との協力

「答申書」「要約」「保護者アンケート結果」については、本校のウェブサイトにて公開しております。

<http://www.sfjlc.org/toshinsyo.htm>

お手すきの時に一読頂ければ光栄です。

尚、答申書の中にある各提言につきましては、理事会承認を得るまでは、最終決定/確定したものではない事にご注意願います。これをもちまして、めざす委

員会としての活動はすべて終了となります。今後は、答申内容に基づき来年度理事会で引き続き検討を行う予定です。答申内容やアンケート結果に関するご意見やお問い合わせは、sfjlc.vision@gmail.com で承っております。今後ともご支援頂きますよう宜しくお願い致します。

サンフランシスコ日本語補習校の英語名変更について

(小西理事長)

2月27日に開催されました当校の総会において、会員の皆様に当校の英語名変更を承認して頂きました。以下に要点をまとめさせていただきます。

<可決内容>

「San Francisco Japanese Language School, Inc.」から「San Francisco Japanese School」に正式に変更が決定。

<背景>

- 1968年、「サンフランシスコ日本語教室」という名称でJCCNCの内部組織として非公式に発足。
- 1969年、当時の校名を直訳した「San Francisco Japanese Language Class, Inc.」という名称でカリフォルニア州非営利法人として正式登録。
- 当時の州法により法人格を明示する「, Inc.」を添付。
- 1998年、日本語名称を「サンフランシスコ日本語補習校」へと改名したが、英語の名称については法的な改名手続はとられず現在に至っている。

<現状の問題点>

- 設立当初、150人程の小規模な「日本語教室」として発足した当校は、現在1200人程の児童生徒を抱える世界第二の補習授業校に成長した。しかし、英語名「Language Class」は、その現状を正確に反映していない。
- 法人名に「Inc.」を添付するという州法の規定は廃止された。更に、「Inc.」は、通常「株式会社」を意味するため非営利教育法人である当校にふさわしくない。
- 現地関係者へ英語で連絡を行う際、不必要な誤解を招く。

<改名による利点>

- 当校の英語名を日本語名に一致させることにより、当校の結束を再確認するとともに、英語環境の現地関係者に対しても当校の正確な位置づけが可能となる。

<改名手続き>

- 州政府への基本定款の修正申請。
- 日本政府、現地の市/郡政府、金融機関等に対する事務的移行措置手続きを、来年度一年間をかけて行う。
- 2011年度移行措置完了をめざす。

<校章デザイン>

- 保刈輝美様のご協力により、採用予定の新校名をあしらった校章のロゴを作成頂いた。
- デザインは専門的なアドバイスを得る必要に応じて修正する。



以上、承認有難うございました。

植木進策校長先生、有難うございました

(小西理事長)

2007年3月より当校の校長職にご着任されておりました植木進策校長先生が、3年間の大役を果たされ、大変残念ながらこの度日本へご帰国されることになりました。

植木校長先生には、これまで教員、職員、保護者の皆様に対し熱心に対応して頂き深く感謝申し上げます。保護者の皆様の中にも植木校長先生の思いやりのあるご対応に接した方々も数多くいらっしゃいます。特に今年度は、通常の理事会や役員会に加え、「40周年記念行事実行委員会」や「めざす補習校像検討委員会」の会議、電話会議にも休日や深夜までご参加頂き本当にお疲れ様でした。お陰さまで補習校の歴史に残る素晴らしい40周年記念を祝うことができ、当校のめざすべきあり方も明確になって参りました。常に植木校長先生が仰っていた理事会、事務局、教員、保護者が「一枚岩」となって事を成すことの大切さが強く感じられた年でした。

昨年秋のメインイベントの際、多くの保護者の皆様のボランティアの結束力と行動力を目の当たりにされ、植木校長先生は、「サンフランシスコ日本語補習校は、人数では世界第二だが、底力は世界一」とお話しされておりました。そのお言葉は、今後の私達の良き励みとなることでしょう。

これから日本にご帰国され、更なるご活躍を祈念するとともに、今後も末永くサンフランシスコ日本語補習校とのお付き合いをお願い申し上げます。三年間有難うございました。

植木校長帰国



このたび3年間の任期を終えて帰国することとなりました。この3年間は、主幹制度ができた後の学校運営をまかされ、主幹制度の確立に向けて、理事会、事務局、そして保護者の皆様と一体になって取り組んだような気がします。この間、一番考えたことは、保護者の方々の協力や学校の方針を理解していただくにはどのようにしていけば良いかということでした。本校は、保護者の方の子どもへの支援が無くてはならない学校です。お互いに手を取り合って頑張っていく学校をめざしました。幸い多くの方々のご支援をいただき、一歩ずつでも良い方向に進んでいると感じています。まだ取り組むべき課題も多いと思いますが次の校長に託したいと思います。

また、今年度はサンフランシスコ日本語補習校創立40周年記念行事としてサンノゼ球場で約2800名を迎え、数々の催しを成功裏に終えたことは、本校の持つ底力を示したと思います。今後ともこのサンフランシスコ日本語補習校が地域の日本語教育施設として活躍されていかれることを祈念してお別れのごあいさつといたします。3年間ありがとうございました。

「ほうかごクラブ」にて五色百人一首大会開催

(小西理事長)

去る3月6日(土)、小学部サンフランシスコ校の「ほうかごクラブ」で、五色百人一首大会が開催されました。「ほうかごクラブ」は、幼稚部から小学2年生までを対象に理事会が運営するアフター・スルー・プログラムです。井上理生教頭先生の奥様である井上敏美様の熱心なご指導により、幼稚部と小学部1、2年生の児童達は、五色百人一首の基本ルールを学び、これまで大会に備えて毎週土曜日にそれぞれの技を競っていました。



私は、五色百人一首のことは知らなかったのですが、日本で教職につかれていた井上先生によると、小中学生のために分かり易く作られた百人一首だそうです。小倉百人一首の百枚の札を20枚ずつ五色に色分けし、一回の対戦で同色の20枚ずつしか使わないので、小さな子供たちでも取り組み易いそうです。日本の学校では授業の一環として取り組んでいるところも多く、

クラス崩壊の対策としてもとても効果があるとのことでした。

子供達が1時半にほうかごクラブにやって来る頃には、クラブ担当の森先生と宮阪先生の事前の準備により、教室に敷かれた青いタープの上に規則正しく座布団が向き合い、その間に20枚ずつの百人一首が整然と並んでいました。一人一人教室に現れた児童達は、これまでの先生方の丁寧なご指導により、後ろ向きに靴を脱ぎ綺麗に揃えたあと、座布団や札を跨がないように自分の座に正座ですわり静かに待っています。全員が揃ったところでトーナメントが開始されました。井上先生の読み上げる上の句を聞きながら真剣に向き合う子供達の中には、読み上げが終わらないうちから札を取る子供達も見かけられ、熱戦が繰り広げられるなか観戦者にも興奮が伝わりました。対戦の結果、幼稚部門は鳩山君が小学部門は一年生の梶谷さんが優勝に輝きました。森先生、宮阪先生、井上先生のご尽力のお陰で、子供達は百人一首の技のみならず、日本の躰もしっかり身につけていたようでした。先生方、有難うございました。

井上先生には、その功績をたたえ、理事会から感謝状をお渡しさせて頂きました。

ほうかごクラブ、幼稚部・新1年生・新2年生募集！ (西郷理事)

ほうかごクラブは、幼稚部、1・2年生が高学年の授業終了時前までの1時間弱を、お友達と一緒に楽しく遊びながら過ごすことを目的としたプログラムです。

現在ほうかごクラブでは来年度からの参加者を募集しています。興味のある方は、サンフランシスコ校 sfjlc.houkago.sf@gmail.com、サンノゼ校 sfjlc.houkago.sj@gmail.com までメールでお問い合わせください。

なお、サンフランシスコ校ほうかごクラブでは、担当者(有給)を募集しています。ご興味のある方は是非上記のSF校メールアドレスへ(担当:藤井)ご連絡ください。

平成22年度理事選挙結果報告

「やまなみ」で選挙告示発表後、2名の立候補の届け出があり、理事会からの推薦者7名を加え、合計9名の候補者について、選挙委員会が定款および理事選挙実施細則に照らして審査を行った結果、全員が資格条件を満たしていることが確認されました。候補者数が9名を越えなかったため、定款第17条第3項に基づき、9名全員が無投票当選となりました。

雨川浩之、石黒吉英、西郷リベカ、高田俊明、藤井グレン、保刈正行、榎本博之、松波博之、三宅孝明(あいうえお順)

保護者会より寄付

平成21年度保護者会より、古本市やバザーの収益金から、幼稚部・小学部サンフランシスコ校にマイクとスピーカーのセット、幼稚部・小学部サンノゼ校にプロジェクター、実物映写機、校歌のパナー、絵本、両中高部にラップトップ・コンピューター1台ずつを寄贈していただきました。各校において今後の指導に役立てて参ります。ありがとうございました。

事務局よりお知らせ

3月、4月の主な行事予定

月	日	行事予定
3	13	平成21年度卒業式、修了式
4	3	平成22年度入学式、始業式
	17	避難訓練

平成22年度入学式、始業式について

<幼稚部> 式典のみ

サンフランシスコ校 (A.P. Giannini Middle School)

受付: 12:30~12:55 (講堂前の廊下)

入学式: 13:00~13:30 (講堂)

サンノゼ校 (Cupertino Middle School)

於: マルチユースルーム

受付: 12:45~12:55 入学式: 13:00~13:30

<小学部>

サンフランシスコ校 (A.P. Giannini Middle School)

始業式: 8:55~9:10

新入生受付: 8:55~9:10 (講堂前の廊下)

入学式: 10:10~11:00 (講堂)

サンノゼ校 (Cupertino Middle School)

始業式: 8:55~9:10 入学式: 10:10~10:55

<中高部>

サンフランシスコ校 (Herbert Hoover Middle School)

登校: 8:40 入学式: 9:00~9:40

サンノゼ校 (J.F. Kennedy Middle School)

入学式: 9:00~9:40

教科書配布について

小学部・中学部では、4月3日の入学式・始業式当日に新しい教科書を配布します。海外子女教育振興財団からすでに教科書を受け取っておられる方には、受取しないように児童・生徒にお伝えください。

なお、高等部の教科書につきましては、各自の購入になります。「教科書購入について」(別途配布)のお知らせをご覧ください。

中高部補助教材の販売について

中高部用の補助教材具の出張販売を下記の日程で行います。下記日程以前には、紀伊国屋書店でも販売は行っておりません。また、小学部については、詳細が未定ですので、決定した段階でお知らせいたします。

サンフランシスコ校 4/3 カフェテリア

中学部：12:00～12:40 高等部：4校時目

サンノゼ校 4/3 パビリオン 12:00～12:40

平成 22 年度授業予定日(計 47 日・下線は集中学習)

4 月	3,10,17,24	10 月	2,9,16,23,30
5 月	1,8,15,22,29	11 月	6,13,20
6 月	5,12, <u>15,16,17,18</u> <u>19,22,23,24,25,26</u>	12 月	4,11,18
7 月	なし	1 月	8,15,22,29
8 月	28	2 月	5,12,19,26
9 月	4,11,18,25	3 月	5,12

「やまなみ」はサンフランシスコ日本語補習校理事会により月 1 回発行されます。

発行人：小西光洋

San Francisco Japanese Language Class, Inc.

760 Market Street, #816, San Francisco, CA94102

電話：415-989-4535 FAX：415-989-2542

電子メール：理事会・事務局 office@sfjlc.com、学校 sfjlc@msn.com

ホームページ：http://sfjlc.org

理事会および学校事務局へのご意見・ご質問等を歓迎します。匿名でのお問い合わせ等には一切お答えいたしかねます。

無断複製・転載を禁ずる。©2010 All rights reserved.